

令和8年 大町市議会 3月定例会
 市政に対する一般質問通告並びに質問要旨、順位
 (1日目5名、2日目5名、3日目4名予定)

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
1	7番 大竹 真千子 [一問一答]	<p>1. 令和8年度の予算について</p> <p>(1) 令和8年度の予算編成は。</p> <p>(2) 企業版ふるさと納税の戦略的活用に向けた考えは。</p> <p>(3) 施設整備と未来への投資に対する考えは。</p> <p>(4) 北アルプス国際芸術祭の端境期における投資への考え方は。</p> <p>(5) 街なみ環境整備事業の展望は。</p> <hr/> <p>【背景・論点】 人口減少や物価高騰が続く中、大町市には単に予算を切り詰めるだけでなく、民間の資金や知恵を活用し、将来の負担を減らす視点が不可欠です。令和8年度予算案には、企業版ふるさと納税の活用、公共施設の計画的な修繕、芸術祭の継続、市街地のまちなみ整備など、市の未来を左右する事業が盛り込まれています。これらが単なる出費で終わらず、将来にわたって大町市の価値を高める「未来への投資」となるよう、市の戦略を問います。</p> <hr/> <p>【ねらい】 新年度予算案に込められた事業を「大町市の未来への投資」として市民と共有することです。企業版ふるさと納税による新たな財源獲得や、将来の維持コストを劇的に下げる戦略的な施設修繕、地域活力を生む芸術祭の継続意義について、市の姿勢を確認します。さらに、いよいよ本格化するアーケード撤去や、街なみ環境整備事業を通して、市長が思い描く10年後の市街地のビジョンを明らかにし、前向きな議論を深めます。</p>

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
2	10番 宮田一男 [一問一答]	<p>1. 防災対策について</p> <p>(1) 災害時トイレ確保計画の整備は。</p> <p>(2) 公助、共助、自助から見て、トイレ確保の整備状況はどうか。</p> <p>(3) 災害時のトイレ使用について市民が学習する機会が必要。</p> <p>(4) 災害時の家庭での対応策についての周知は。</p> <p>(5) 危機管理課への女性職員の配置は。</p>
		<p>【背景・論点】 内閣府「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」に定める指針に沿った対応がされているか。</p>
		<p>【ねらい】 災害時のトイレ環境の確保。</p>
		<p>2. 後期高齢者への資格確認書の交付について</p> <p>(1) 資格確認書の職権交付見直しに対する対応は。</p> <p>(2) 暫定運用の継続を。</p>
		<p>【背景・論点】 マイナ保険証有無に関わらず職権交付されてきた資格確認書が、令和8年8月から見直されることとなった。</p>
		<p>【ねらい】 マイナ保険証保有者にも、職権で資格確認書を発行することが必要。</p>
		<p>3. 保育所の再編について</p> <p>(1) 辺地における保育所の役割は何か。</p> <p>(2) 辺地こそ保育環境の整備が必要ではないか。</p>
		<p>【背景・論点】 公立保育所7園を3園に再編するとの検討が進み、保護者・住民説明会を実施中。</p> <p>【ねらい】 地域に保育所のあることが、移住定住先を選択する上での重要な要件となる。</p>

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
3	2番 傳 刀 健 [一問一答]	<p>1. 安定財源の確保と地域経済活性化のために、ふるさと納税に関する施策について</p> <p>(1) 近年の実績推移と、実績に対する市の考えは。</p> <p>(2) なぜ大町市は、実績が乏しいのか。</p> <p>(3) 地域経済を発展させるためにも返礼品の充実や目標計画を綿密に立てるべきでは。</p> <hr/> <p>【背景・論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣自治体や県内の財政規模の類似している自治体と比べても、大町市がふるさと納税を受ける額は少ない。 ・ 制度が始まり19年目を迎えようとしている。 <hr/> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実現可能な中長期計画と具体的な年度計画を立て、安定した財源確保と返礼品の開拓によって地域経済の活性化に繋げてほしい。
4	11番 小 澤 悟 [一問一答]	<p>1. 大町市施設使用料について</p> <p>(1) 大町市体育施設使用料の改定は、市民の皆さん、各種スポーツ団体にしっかりと周知され、納得されているのかを問う。</p> <p>(2) 公民館の施設利用は公益的か、私益的か、市の考えを問う。どのように市民に周知するのか問う。</p> <hr/> <p>【背景・論点】</p> <p>(1) 今回、スポーツ協会から使用料に関する要望書が提出されると聞いた。議会での説明では、市民の皆さん、各種スポーツ団体には丁寧に説明すると聞いたが、なぜ要望書が出されるのか。</p> <p>(2) 公民館を使った活動は、市民の生涯学習の場であり、公益的な部分のほうが大きいと感じるが、私益的と当市が決める根拠は何か。</p> <hr/> <p>【ねらい】</p> <p>(1) どのようにして市民、各種スポーツ団体の皆さんに納得して施設使用料を負担いただくか。</p> <p>(2) 公民館を使う市民の適正価格と丁寧な説明は、いつどのタイミングで行われるのか。</p>

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
5	8番 植松 悠一郎 [一問一答]	<p>1. 高齢者への雪かき支援、屋根の雪下ろし支援について</p> <p>(1) 全国的に大雪の報道が相次ぎ、雪かきにまつわる緊急搬送が2月時点で約30件程度あったとの記事も目にした。当市では、雪かきや屋根の雪おろしが起因となった緊急搬送はあったか。</p> <p>(2) 12月議会で質問した高齢者の雪かきや屋根の雪下ろし支援について、新年度予算で拡充を検討すると答弁があったが、どのように予算へ反映されたのか。</p> <p>【背景・論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の雪かきは、心疾患などによる死亡の危険が高いと言われており、屋根の雪下ろしも含め、けがや事故につながるおそれがある。 ・近年は一度に降る雪の量が多くなる傾向がある。 ・当市は、平地区や美麻地区などの豪雪地域を抱えている。 ・市として、できる限り市民の命と安全を守る取り組みが必要である。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者による雪かきや屋根の雪下ろしの負担と危険を、今よりも減らしたい。 <p>2. 市民意識調査の結果を、まちづくりにどう活かしていくのかについて</p> <p>(1) 市民意識調査の結果について、市はどのように受け止めているか。</p> <p>(2) 来年度策定する次期総合計画について、市民が「このまちは良くなった」と実感できる計画とするために、意識調査結果をどのように活かしていく考えか。</p> <p>【背景・論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査では、多くの分野で満足度が3.0を下回っている。 ・一方で、ほとんどの分野が「重要だ」と高く評価されている。 ・市民が特に大切だと思っていることほど、満足できていない傾向もある。 ・市民が満足を実感できる、わかりやすいまちづくりが必要である。 ・来年度は、次の総合計画を策定する年である。 ・総合計画は、これからのまちづくりの方向を決める大切な計画である。 ・その計画に、市民意識調査の結果をしっかりと反映し、優先順位にメリハリのある計画にすることが重要。

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
5	8番 植松 悠一郎 [一問一答]	<p>【ねらい】 市民意識調査では、満足度や成果の実感が十分とは言えない結果が続いており、この現状は重く受け止めるべきだと考える。 その上で、調査結果を丁寧に分析し、限られた財源や人員の中で優先順位にメリハリをつけ、市民がわかりやすく満足できるまちづくりにつながる総合計画にしていく必要があると考える。 市としてこの点をどのように考えているのか、その方向性を確認したい。</p>
6	15番 高橋 正 [一問一答]	<p>1. 市立大町総合病院について</p> <p>(1) 平成29年度 資金不足比率22%以後、コロナ禍を経て、現在までの経営状況の変化は。</p> <p>(2) 市長は厳しい現状に、どのように対応しようと考えてるか。</p> <p>(3) 病院長の仕事は何か。</p> <p>2. 地域における医療連携について</p> <p>(1) 各種情報交換の精度は高まっている。松本平全体としての医療連携の整備を。</p>
7	1番 西澤 和保 [一問一答]	<p>1. 若者や子育て世代の人口増への課題と支援のあり方について</p> <p>(1) 進学後の若者世代の人口流出の改善に向けた検証と対策は。</p> <p>(2) 若者世代・子育て世代のUターン・Iターンに向けた取組は。</p> <p>(3) 若手人材の確保や若者・子育て世代の移住・定住策のあり方は。</p> <p>【背景・論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後の若者世代の地元からの流出が止まらない。 ・地元事業所の人材不足、特に若手人材の確保が課題である。 ・若者世代のUターン・Iターン等の施策の問題点。 <p>【ねらい】 大学等への進学時による若者の流出への課題と、若者・子育て世代の移住・定住に向けた課題と今後の市の方針を問う。</p> <p>(1) 高校卒業後の進学時からの若者世代の流失が止まらない現状を、進学時の就学支援策の再考を含め、打開策を行政と探りながら提言したい。</p> <p>(2) 若者・子育て世代の移住定住、Uターン・Iターンの現状と、課題解消に向けた今後の取り組みを問いたい。</p>

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
8	6番 中村直人 [一問一答]	<p>1. 合併20年の振り返りと未来について</p> <p>(1) 子育て・水道・暮らしの課題は。</p> <p>(2) 地域ぐるみの子育て文化・特色を活かす体制は。</p> <hr/> <p>【背景・論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別市民意見交換会および保育所再編の市民説明会で、八坂・美麻両地区から強い関心と要望が示された。 ・美麻は保育所が休園状態にあり、八坂は地理条件（通園距離）が大きく、再編の影響と選択肢が地区で異なる。 ・一方で両コミュニティスクールは先進的で、幼保小中の連携（行事・総合・架け橋等）を一体的に考えることで地域資源を活かせる可能性がある。 ・水道料金の公平性や簡易水道統合は、合併時の約束・地域生活の基盤として整理が必要。 ・人口減少下では、地区の特色を活かした戦略（教育・移住等）が重要であり、合併特例債等の投資効果をEBPM等で検証し、次の投資判断に活かす必要がある。 ・両地区には地域づくり協議会や小さな拠点の枠組みがあり、住民側に高度な議論（財政・選択と集中）を行う素地が存在する。 <hr/> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育・インフラを「存続／統合」の二択にせず、地区の特色を活かした複数の選択肢（モデル）を提示し、市の方針と整合させる。 ・合併20年の節目として、投資の成果と課題を可視化し（EBPM等）、今後の施策・投資の優先順位付けに結びつける。 ・地域づくり協議会／小さな拠点との協働を適切化（定期協議の場・情報共有・役割分担・サポート・長期育成）し、住民自治を活かした地域運営へ段階的に移行する方向性を考える。 ・山間地と中心部が対立しない形で、公平性（料金・サービス）の考え方を整理し、市全体の持続可能性とアイデンティティ醸成につなげる。
9	16番 大和幸久 [一問一答]	<p>1. 大町市の官製談合事件について</p> <p>(1) 牛越市長の真相究明にむけた取り組み方針について問う。</p>

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
10	5番 太田 昭司 [一問一答]	<p>1. 「生きづらさ」を抱える人たちへの支援について</p> <p>(1) 発達障がいを多様性（ニューロダイバーシティ）であるとする視点を市はどうとらえるか。</p> <p>(2) 精神障がい者の支援をどのような理念に基づき進めていくか。</p> <hr/> <p>【背景・論点】 発達障がいの子どもたち、また大人たちは、今後さらに増えていくと予想される。そのような中、発達障がいを「障がい」ととらえるのではなく「多様性」ととらえるニューロダイバーシティの視点が注目されるようになり、誰もが生きやすい社会を形成していく「社会の側の責任」が問われるようになった。 また、精神障がい者も今後ますます増えていくことが予想される。そのような中、精神障がい者に対する支援策の充実が喫緊の課題となってきた。</p> <hr/> <p>【ねらい】 今後も増える発達障がいの人たちに対する支援体制を充実させるとともに、生活上の障壁を取り除く「社会モデル」という考えをもとに、福祉、教育、まちづくり等あらゆる分野において取り組みを進めていくこと。 また、精神障がい者の増加は決して看過できるものではない。今後、精神障がい者に対する支援策を強力に進めるため、明確な理念のもと、人材の確保、そして重層的支援体制の整備を進めること。</p>

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
11	9番 栗林陽一 [一問一答]	<p>1. 受益者負担の考え方と放課後児童クラブ（学童保育）の有料化について</p> <p>(1) 受益者負担の基本的な考え方について問う。</p> <p>(2) 放課後児童クラブ利用料の有料化について問う。</p> <hr/> <p>【背景・論点】 本市では、行財政運営の中で「受益者負担の適正化」が掲げられている。一方で、子育て支援は少子化対策の柱であり、社会全体で支えるべき政策である。受益者負担という概念は、本来「特定の者が特別の利益を受ける場合」に限定して適用されるべきであり、子どもの健全育成という公益性の高い施策にそのまま当てはめることの妥当性が問われる。</p> <hr/> <p>【ねらい】 第一に、本市における受益者負担の基本原則を明確にさせ、福祉・子育て分野にまで一律に適用する姿勢を見直させること。 第二に、放課後児童クラブの有料化が本当に必要不可欠な措置であるのか、その財政的効果と市民負担のバランスを明らかにさせること。 第三に、子育て支援は「受益者負担」ではなく、「社会全体で支える共通負担」であるとの立場から、減免拡充や将来的な無償化を含めた前向きな検討を促すこと。</p> <hr/> <p>2. 北アルプス国際芸術祭に対する行政の責任と財政支出の妥当性について</p> <p>(1) 財政支出の妥当性について問う。</p> <p>(2) 経済効果および地域波及効果について問う。</p> <p>(3) 実行委員会と市の責任の所在について問う。</p> <p>(4) 市民合意の形成について問う。</p> <hr/> <p>【背景・論点】 本芸術祭は、市の重点事業として継続実施されているが、多額の公費が投入されている。一方で、物価高騰のもと、市民生活は厳しさを増し、福祉や子育て支援の拡充を求める声は強い。 文化振興自体を否定するものではないが、「財政規模に見合う効果があるのか」「一部事業者や来訪者に限定された効果にとどまっていないか」「市民合意が十分とは言えないのではないか」という点が問われている。</p> <hr/> <p>【ねらい】 (1) 投入公費の全体像を明らかにすること。 (2) 費用対効果の客観的検証を求めること。 (3) 行政責任の所在を明確にすること。 (4) 市民生活優先の財政運営へ転換を迫ること。</p>

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
12	13番 山本 みゆき [一問一答]	<p>1. 部活動の地域移行は計画通り進んでいるのか</p> <p>(1) 今年度、展開準備期として計画している3つの課題の実行は。</p> <hr/> <p>【背景・論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月に推進協議会を設立し、地域展開推進計画を策定・公表している。 ・令和7年度は展開準備期として、3つの課題を示しており、モデルケースでの実施や運営団体・実施主体及び支援策を検討、また施設利用の使用料・予約のルールを整備するとしている。 ・年度末にあたり、計画通りに進んでいるのか。 <hr/> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの『やりたい・楽しみたい』を地域で実現するため、大町市学校部活動地域展開推進計画の進捗を問う。 ・計画の進捗を問い、市が計画通り進めることで、保護者や生徒、指導員の不安解消を目指す。

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
13	4番 堀 堅一 [一括]	<p>1. 固定資産税の減額について</p> <p>(1) 松本糸魚川連絡道路の影響を鑑みて、固定資産税減額に向けて検討すべきだ。</p> <p>【背景・論点】 昨年12月に松糸道路の狭いルート帯が発表された。土地・建物が道路にかかる市民の皆様の固定資産税の評価について、大きな配慮が必要だ。 同様に、松糸道路により影響を受ける土地・建物の所有者にも救いの手を差しのべるべきだ。</p> <p>【ねらい】 松糸道路によって不幸だと感じる市民について、その生活への配慮が求められる。</p> <p>2. 地酒で乾杯条例の意義を問う</p> <p>(1) 8年前に県で「地酒で乾杯条例」ができた。当初は、日本酒で乾杯が奨励されたが、今では見る影もない。大町市には、ビールもワインもあるので、地酒の定義が難しいが、県条例の意義を再確認したい。</p> <p>【背景・論点】 食用米の値上がりで、酒米作りの農家の未来に希望が失われている。県、大町市、農協で酒文化の存続のため、補助金で応援している。</p> <p>【ねらい】 地酒で乾杯しなくても罰則はないが、地元産業や酒文化の育成のため、地酒で乾杯条例の意義を再確認し、大町市として広報を強化するべきだ。</p>

順位	議席番号 氏名 [質問形式]	質問項目及び要旨
14	3番 一本木 秀章 [一問一答]	<p>1. 持続可能な大町農業の再生について</p> <p>(1) 第6次総合計画に向けての対策は。</p> <p>(2) 担い手不足と中核農家支援について問う。</p> <p>(3) 有害鳥獣対策と農地保全について問う。</p> <hr/> <p>【背景・論点】 本市の農業は、農業者の高齢化と担い手不足などにより、今まさに「静かな崩壊」の入口に立っているのではないかと、強い危機感を持っております。市の覚悟を問います。 大町市の有害鳥獣駆除対策は、全国的に最先端を行っています。中山間地の農地保全は、有害鳥獣駆除と大きく関係があります。他地区のお手本となる対策について伺います。</p> <hr/> <p>【ねらい】 第6次総合計画を立てるにあたって、激変する大町農業を予測し、目標年度までに第6次総合計画を達成することができるのか？</p>

令和8年 大町市議会 3月定例会

市政に対する一般質問通告者及び発言順位

質問 順位	会 派 等 名	議 席 番 号	議 員 名	質問形式	抽選 番 号	登壇日	持ち 時 間	開始時刻	終了時刻
1	個 人	7	大 竹 真 千 子	[一問一答]		3月3日	(50)	10時00分	10時50分
2	個 人	10	宮 田 一 男	[一問一答]			(50)	11時05分	11時55分
3	個 人	2	傳 刀 健	[一問一答]			(50)	13時00分	13時50分
4	個 人	11	小 澤 悟	[一問一答]	2		(50)	14時05分	14時55分
5	個 人	8	植 松 悠 一 郎	[一問一答]	3		(50)	15時10分	16時00分
6	個 人	15	高 橋 正	[一問一答]	5	3月4日	(50)	10時00分	10時50分
7	個 人	1	西 澤 和 保	[一問一答]	7		(50)	11時05分	11時55分
8	個 人	6	中 村 直 人	[一問一答]	9		(50)	13時00分	13時50分
9	個 人	16	大 和 幸 久	[一問一答]	10		(50)	14時05分	14時55分
10	個 人	5	太 田 昭 司	[一問一答]	12		(50)	15時10分	16時00分
11	個 人	9	栗 林 陽 一	[一問一答]	13	3月6日	(50)	10時00分	10時50分
12	個 人	13	山 本 み ゆ き	[一問一答]	14		(50)	11時05分	11時55分
13	個 人	4	堀 堅 一	[一括]	15		40	13時00分	13時40分
14	個 人	3	一 本 木 秀 章	[一問一答]	16		(50)	13時55分	14時45分

※①所要時間は、分単位

②一問一答方式を選択した議員の所要時間は()書きで表示し、50分としています(質問時間は20分)。

③所要時間、開始時刻及び終了時刻は目安です。進行状況等により、前後することがあります。